

# 知っていますか!!

# 放火による火災が増えています!!

## 千葉市における火災原因の第一位は「放火」

### ストップ!!放火

放火火災予防の基本は、普段から「放火されない環境づくり」に努めることが大事です。  
このためには、地域全般にわたる住民の協力が不可欠であり、非常時に備えた対策を即時に実施するための対応手段を定めておくことも必要です。

放火を防ぐのは地域のみなさんです。



放火を防ぐには、家の周りを整理・整頓するなど放火されにくい環境をつくるのが大切です。



家のまわりには  
燃えやすい物は置かない



ゴミは指定された  
日時・場所に出す



物置や車庫には  
鍵を掛ける



自動車等のカバーには  
防災製品を使うことも有効です



防犯カメラを設置  
することも有効です



夜間照明を設置  
することも有効です

〈この資料に関するお問い合わせ先〉

千葉市消防局予防部予防課 ☎043-202-1613



# ご存じですか?

## 今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率

# 千葉市が最も高い85%



阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の6割以上が電気に起因する火災とされています。  
地震による火災には「地震発生直後の火災」と「通電火災」があります!

### 地震発生直後の火災

電気器具が転倒し、可燃物と接触するなどして起こる。

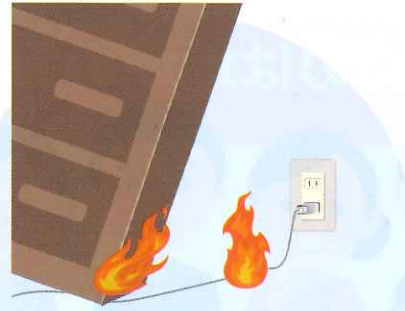


#### 地震発生時の電気火災例

重い物が倒れて、壊れた電気製品から発火

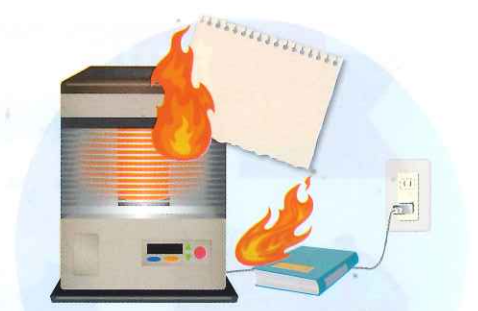
### 通電火災

停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起こる現象。



#### 地震による電気火災例

電源コードの被覆が破れて短絡(ショート)により発火



#### 復電時の電気火災例

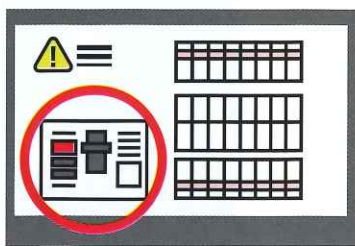
復電後、電気製品に落下した可燃物から発火

## 地震による電気火災対策には、感震ブレーカー等が効果的です。

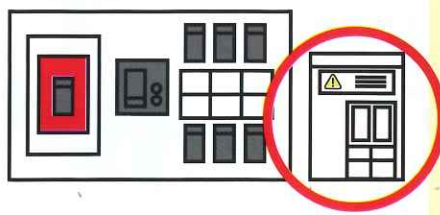
### 感震ブレーカー等とは..

「感震ブレーカー等」は、設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

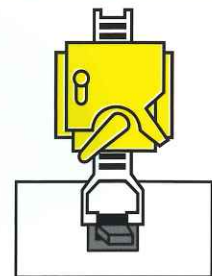
### 主な感震ブレーカーの種類



分電盤タイプ  
(内蔵型)



分電盤タイプ  
(後付型)



簡易タイプ  
(パネ式)